

町並み散策ばり in 神奈川



横浜建築物コレクションめぐり

- ①日本基督教団・横浜指路教会 ②馬車道十番館 ③県立歴史博物館（旧横浜正金銀行本店）
- ④横浜アイランドタワー低層部（旧第一銀行横浜支店）
- ⑤東京芸術大学大学院映像研究科（旧富士銀行横浜支店） ⑥日本郵船 ⑦横浜税関（クイーンの塔）
- ⑧横浜開港記念会館（ジャックの塔） ⑨神奈川県庁本庁舎（キングの塔）
- ⑩横浜情報文化センター（旧横浜商工奨励館） ⑪日本キリスト教会 横浜海岸教会 ⑫横浜開港資料館



日本基督教団・横浜指路教会/
「ヘボン式ローマ字」を考案したヘボン(正式名ヘップバーン)が中心になって設立された教会。設計・施工はともに竹中工務店で、大正15(1926)年に建てられた。



馬車道十番館/
明治の先覚者でガス事業の創始者でもある高島嘉右衛門家の旧跡に当たる。
店先にある牛馬飲水槽は大正6年、当時横浜の陸上交通の主力であった牛馬のために設けられたもの。



県立歴史博物館/
(旧横浜正金銀行本店)
明治37年(1904)7月竣工。設計者は明治時代を代表する建築家である工学博士の妻木頼黄氏、現場監督は技師工学士遠藤於菟氏。



横浜アイランドタワー低層部
(旧第一銀行横浜支店) /
1929年(昭和4年)に建設されたこの建物は、関東大震災復興期における典型的な銀行建築である。設計者は西村好時氏と清水組設計部。



東京芸術大学大学院映像研究科
(旧富士銀行横浜支店) /
設計は安田銀行営繕課。1954年(昭和29年)2月に、創建時と同じスタイルで、南側に増築された。



日本郵船 /
昭和11年に和田順顕建築事務所の設計により、日本郵船横浜支店として建てられた。施工は大林組。近代化産業遺産認定。



横浜税関(クイーンの塔) /
1934年(昭和9年)3月に完成。県庁より2m高い51mの高さを誇る塔。設計者は国会議事堂を設計した吉竹東里といわれているが、詳細は不明。大蔵省営繕管財局が設計し、担当者が下元連・吉竹東里の様である。施工は現戸田建設の戸田組。



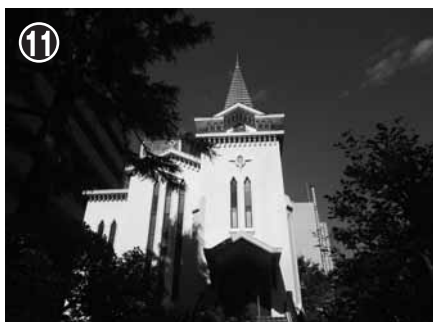
開港記念会館(ジャックの塔)
大正6年6月30日に竣工し、赤煉瓦の時計塔(高さ36m)は90年以上も時を刻んでいる。平成元年には国の重要文化財に指定された。



神奈川県庁(キングの塔) /
現在の神奈川県本庁舎は第4代目。昭和3年10月に竣工したこの建物は帝冠様式と呼ばれ、国登録有形文化財に指定されている。



横浜情報文化センター
(旧横浜商工奨励館) /
昭和4年、市内商工業界の復興と発展の拠点として横浜商工奨励館として建てられたもの。設計は木村龍雄氏を中心とした横浜市建築課、施工は請負業者の岩崎金太郎氏。



横浜海岸教会 /
1933年(昭和8年)に建設された日本初のプロテスタント教会。設計は宮内省技師出身の雪野元吉氏。施工は宮内工務店。



横浜開港資料館旧館
(旧イギリス領事館) /
イギリス領事館は昭和6年イギリス工務省の設計により建てられた。ペリーが来航して結ばれた日米和親条約は横浜開港資料館の中庭にある玉楠の木の下で行われた。